資料１－４

第 31 回本部員会議資料
令和３年４月５日
保健福祉部

岩手県事例に係る変異株 PCR 検査及びゲノム解析の実施状況
（令和３年４月５日現在）

１　変異株 PCR 検査（スクリーニング検査・岩手県環境保健研究センター）

(1) **変異株発生の早期探知**を強化するため、**令和３年２月から県環境保健研究センター**において検査を開始。
(2) 検査対象：県環境保健研究センターで確認された陽性例全例（当面の間）。
(3) 検査結果：**これまでに 120 件実施し、２件の変異株を検出**※。陽性となった２件から、**現時点で県内での感染拡大は確認されていない**。

実施月	総件数	うち陽性	検査対象
令和３年２月	47 件	０件	令和３年１月～２月公表分
令和３年３月	31 件	０件	２月～３月 21 日公表分
令和３年４月	42 件	２件	３月 22 日～４月４日公表分
計	120 件	２件	

※　スクリーニング検査において陽性となった検体は、変異株の種類を特定するため国立感染症研究所に速やかに送付し、ゲノム解析を実施。

２　ゲノム解析（国立感染症研究所）

(1) **全国のクラスター対策に活用**するため、令和２年３月から**国立感染症研究所において実施。**
(2) 解析対象：①　県環境保健研究センター等で確認された陽性例のうち、**ウイルス量が多い**検体（**定期的な検査**）
②　県環境保健研究センターによる**変異株スクリーニング検査において、陽性**となった検体（**随時の検査**）
(3) 解析結果：**212 件の解析が終了**しており、**２件の変異株（英国変異株）**を確認。県内の事例では、令和３年１月以降、国内第３波系統が多くを占めている。

検査分類	検体送付	総件数(件)	解析結果(件)			摘要
			国内第2波系統	国内第3波系統	変異株	
定期検査	1回目	139	119	20	0	令和2年7月～令和3年1月公表分
	2回目	71	36	35	0	令和2年11月～令和3年2月公表分
	3回目	40	－	－	－	令和3年3月公表分(結果未着)
随時検査	1回目	2	0	0	2	**英国型変異株**
計		252	155	55	2	

（参考資料１）

第 28 回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード
（令和３年３月 31 日）資料

新型コロナウイルス感染症（変異株）の評価・分析

１．N501Yの変異のある変異株

- 「N501Yの変異がある変異株」は、従来株よりも、**感染しやすい可能性**がある。
- 英国で確認された変異株(VOC-202012/01)、南アフリカで確認された変異株(501Y.V2)、ブラジルで確認された変異株（501Y.V3）、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有している。
- 英国や南アフリカで確認された変異株については、**重症化しやすい可能性**も指摘されている
- 3/30時点、国内事例678例、空港検疫123例の計801例が確認されている。

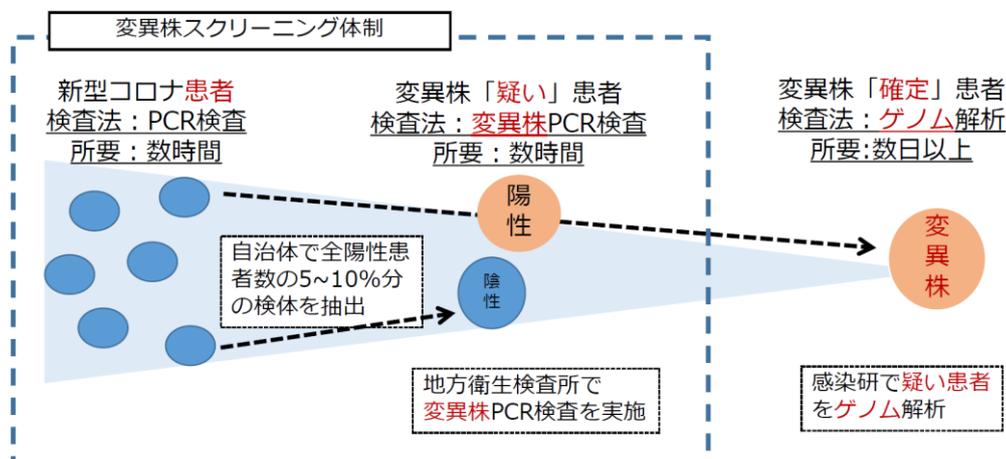
２．E484Kの変異がある変異株

- 「E484Kの変異がある変異株」は、従来株よりも、**免疫やワクチンの効果を低下させる可能性（*1）が指摘**されている。
- 南アフリカで確認された変異株(501Y.V2)、ブラジルで確認された変異株（501Y.V3）、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有している。

*1　この変異のみでワクチンが無効化されるものではなく、ファイザー社のワクチンの場合は、承認審査において、モデルウイルスを用いた非臨床試験を通じ、種々の変異株にも一定の有効性が期待できるが、今後も変異を注視し、引き続き検討が必要とされている。

※　上記のほかに「N501Yの変異はないがE484Kの変異がある変異株」を、3/25時点、我が国では、1,161例（国内1,156件、検疫5件）確認している。

新型コロナウイルス感染症（変異株）のスクリーニング体制

- 1/22、全国の地方衛生検査所に、変異株PCR検査手法を提供。順次、**地方衛生検査所で変異株PCR検査を用いた変異株スクリーニングを開始**。
- 現在、スクリーニング体制の検討中の自治体には、**国立感染症研究所が変異株スクリーニングを代行して実施**。

※変異株が確認された自治体においては割合をあげてスクリーニングを強化

（参考資料２）

都道府県別の変異株（ゲノム解析）確認数について（3 月 31 日公表分）

（厚生労働省ホームページ）